

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.

PAT-NO: JP403156032A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 03156032 A
TITLE: SIMPLE BAR REINFORCING EXECUTION METHOD FOR BASEMENT
PUBN-DATE: July 4, 1991

INVENTOR-INFORMATION:
NAME
OSHIMA, TERUFUSA

ASSIGNEE-INFORMATION:
NAME MISAWA HOMES CO. LTD COUNTRY
N/A

APPL-NO: JP01292205
APPL-DATE: November 13, 1989

INT-CL (IPC): E02D029/00
US-CL-CURRENT: 52/169.1

ABSTRACT:

PURPOSE: To reduce a construction period and costs by providing the means to hang reinforcing bars at specific intervals to the outside of internal wall panels used for a temporary internal frame and, at the same time, hanging a reinforcing construction to the hanging means.

CONSTITUTION: Deck plate 1 mounting reinforcement holding metal fixtures 8 at specific intervals is assembled to construct the wall skeleton 5 of a basement. After that, a mesh reinforcement 9 processed at a factory in advance is inserted in bar arrangement hanging means of the reinforcement holding metal fixtures 8 to hang. Then, the reinforced wall skeleton 5 of the basement is placed on the base concrete of the underground. In addition, concrete is poured between retaining sheet piles of a temporary external frame and the deck plate 1 of a temporary internal frame and in the ceiling section of the reinforced wall skeleton 5.

COPYRIGHT: (C)1991, JPO&Japio

⑫ 公開特許公報(A) 平3-156032

⑬ Int. Cl.⁵

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成3年(1991)7月4日

E 02 D 29/00

C

7505-2D

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

⑮ 発明の名称 地下室の簡易配筋施工方法

⑯ 特 願 平1-292205

⑰ 出 願 平1(1989)11月13日

⑱ 発 明 者 大 島 輝 興 東京都杉並区高井戸東2丁目4番5号 ミサワホーム株式会社内

⑲ 出 願 人 ミサワホーム株式会社 東京都杉並区高井戸東2丁目4番5号

⑳ 代 理 人 弁理士 丹羽 宏之 外1名

明 細 書

1. 発明の名称

地下室の簡易配筋施工方法

2. 特許請求の範囲

地下室の壁設体を構成するコンクリート打込のための内仮枠を兼ねた内壁パネルの外側に、所定の間隔で配筋を掛止する配筋掛止手段を設け、この配筋掛止手段に予め工場で加工された配筋構造体を掛止して、この配筋構造体を保持することを特徴とする地下室の簡易配筋施工方法。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

この発明は、内壁をコンクリート打込みの内仮枠と兼用する内壁パネルに簡単に配筋の取付けができる地下室の簡易配筋施工方法に関するものである。

(従来の技術)

従来コンクリート打込みの内仮枠と内壁パネル

を兼用する地下室のコンクリート壁の配筋施工方法は、第7図に示すように、内仮枠を兼ねた内壁パネルであるデッキプレート1の外側に所定の間隔で差し筋2を溶接し、この差し筋2に縦横の鉄筋3をワイヤー4でバンディングすることによりコンクリート壁の配筋を前記デッキプレート1に取付けて保持させている。

(発明が解決しようとする課題)

従来例は以上のような方法に係るものであるもので、鉄筋3を内壁用のデッキプレート1に溶接で取付けられた差し筋2に取付保持するためのワイヤー4のバンディングに非常に多くの手間と時間が係るという問題があった。

この発明は、以上のような従来例の問題点を解消するためになされたもので、地下室のコンクリート打込み用の内仮枠と内壁を兼用する内壁用のデッキプレート1の外側に、予め工場で加工した配筋構造体を掛止するだけで簡単に配筋ができる地下室の簡易配筋施工方法の提供を目的としている。

(課題を解決するための手段)

このため、この発明に係る地下室の簡易配筋施工方法は、地下室の壁設体を構成するコンクリート打込のための内仮枠を兼ねた内壁パネルの外側に、所定の間隔で配筋を掛止する配筋掛止手段を設け、この配筋掛止手段に予め工場で加工された配筋構造体を掛止して、この配筋構造体を保持することにより、前記の目的を達成しようとするものである。

(作用)

以上のような方法としたこの発明に係る地下室の簡易配筋施工方法は、内壁をコンクリート打込みの内仮枠と兼用する内壁パネルの外側に所定の間隔で配筋掛止手段を設け、この配筋掛止手段に予め工場で加工された配筋構造体を掛止し保持させることにより、地下室のコンクリート壁の配筋の取付施工が完了する。

(実施例)

以下に、この発明の一実施例を図面に基づいて説明する。

の壁設体、6は外仮枠を兼ねる土留矢板7を保持するH形鋼杭、8は予め工場で加工配筋構造体であるメッシュ配筋9をデッキプレート1の外側に掛止保持する配筋受け金具、8aは配筋受け金具8の配筋掛止部であり、配筋を挿入する配筋掛止部8aの配筋挿入口の寸法bは鉄筋3の外形dより幾分小さくなっている。そして、配筋受け金具8と配筋掛止部8aが配筋掛止手段Aを構成している。この配筋受け金具8は所定の間隔で、予めデッキプレート1に溶接などにより取付けられている。

(動作)

以上の構成に基づいて動作を説明する。

第1図ないし第4図において、先ず、所定の間隔で配筋受け金具8を取付けたデッキプレート1を組立てて、地下室の壁設体5を組立てる。そして、組立てられた壁設体5の外側に所定の間隔で並んだ前記配筋受け金具8の配筋掛止部8aに、予め工場で加工されたメッシュ配筋9を挿入し、掛止させることにより、地下室のコンク

(構成)

第1図は地下室の壁設体に予め工場で加工された配筋構造体の一例であるメッシュ配筋を取付施工する地下室の簡易配筋施工方法を示す斜視図、第2図はこの実施例の地下室の壁部部分横断面図、第3図は同じくこの実施例の配筋掛止手段を取付けた内壁パネルであるデッキプレートの部分斜視図、第4図は同じくデッキプレートの配筋掛止手段にメッシュ配筋を掛止する前のデッキプレートとメッシュ配筋を示す部分縦断面図、第5図は他の実施例の配筋掛止手段を取付けた内壁パネルの斜視図、第6図は同じく他の実施例の内壁パネルの配筋掛止手段にメッシュ配筋を掛止する前の内壁パネルとメッシュ配筋を示す部分断面図である。

なお、従来例と同一または相等部分は同一符号で表わす。

第1図ないし第4図において、5は内仮枠と内壁を兼ねる内壁パネルの断面が梯形の凹凸形状αを有するデッキプレート1で組立てられた地下室

リット壁の配筋が完了する。このようにして配筋された地下室の壁設体5を地下のベースコンクリート上の所定の位置に据付けて、外仮枠の土留矢板7と内仮枠のデッキプレート1の間ならびに配筋された壁設体5の天井部にコンクリートを打込むことによって配筋されたコンクリート壁を有する地下室を簡単に構築することができる。

(他の実施例)

第5図と第6図にこの発明の他の実施例を示す。

この実施例は配筋受け金具8と配筋掛止部8aとを前記実施例と異なる形状としたものである。この場合の動作は前記実施例と同様であり、配筋受け金具8の配筋掛止部8aにメッシュ配筋9を引っ掛けて、鉄筋3の外径より幾分小さい寸法の配筋掛止部8aの開口端に鉄筋3を圧入して嵌着することによって、メッシュ配筋9は容易にかつ、確実に壁設体5のデッキプレート1に掛止され、メッシュ配筋9を保持させて配筋施工を行うことができる。

なお、地下室の壁設体5の組立ては、予め配筋を掛止した内仮枠用デッキプレート1を地下で順次組立ててもよく、また、配筋受け金具8の取付けは現場においてデッキプレート1に溶接して取付けてもよい。

なお、配筋係止手段Aは前記実施例に限定されるものでなく、同様の機能を有する構造のものであればよい。

(発明の効果)

以上説明したように、この発明によれば地下室の内仮枠と内壁を兼用する内壁用パネルの外側に所定の間隔で配筋を掛止する配筋掛止手段を設け、この配筋掛止手段に予め工場で加工された配筋構造体を掛止することにより配筋施工が完了するので、差し筋に鉄筋をワイヤーでバンディングする必要がなく、配筋工数と配筋時間を大幅に削減でき、これによって工期と工費を著しく削減することができる。

4. 図面の簡単な説明

第1図はこの発明の一実施例による地下室の簡

易配筋施工方法を示す壁設体の斜視図、第2図は同じく地下室の壁部部分横断面図、第3図はこの実施例の配筋受け金具を取付けたデッキプレートの部分斜視図、第4図は同じくデッキプレートの配筋掛止手段にメッシュ配筋を掛止する前のデッキプレートとメッシュ配筋を示す部分縦断面図、第5図は他の実施例の配筋掛止手段を取付けたデッキプレートの部分斜視図、第6図は同じく他の実施例のデッキプレートの配筋掛止手段にメッシュ配筋を掛止する前のデッキプレートとメッシュ配筋を示す部分縦断面図、第7図は従来例の差し筋に鉄筋をワイヤーでバンディングしたデッキプレートの部分縦断面図である。

- 1 ……デッキプレート
- 5 ……地下室の壁設体
- 6 ……H形鋼杭
- 7 ……土留矢板
- 8 ……配筋受け金具
- 8a ……配筋係止部
- 9 ……メッシュ配筋

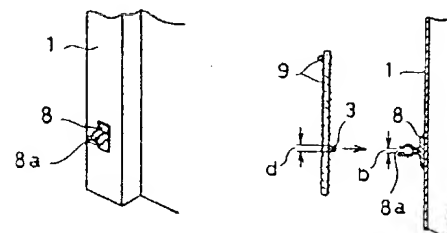
A ……配筋係止手段

α ……凹凸形状

なお、各図中同一または相当部分は同一符号で表わす。

第3図

第4図

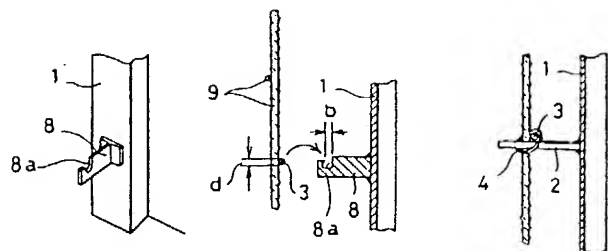


8a : 配筋掛止部

第5図

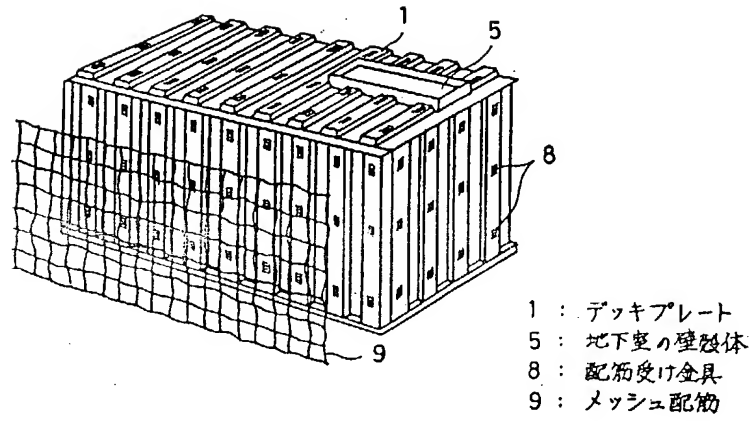
第6図

第7図



出願人 ミサワホーム株式会社

第 1 図



第 2 図

